

須恵町における「部活動の地域移行」について

Ⅰ 部活動の地域移行について

令和4年6月6日、運動部活動の地域移行に関する検討会議より、スポーツ庁に対して提言が行われ、中学校運動部活動の地域への移行が示されました。また、8月9日、文化系部活の地域移行についても、文化庁の有識者会議による提言が示されました。この提言を受け、これまで教員が行っていた休日の部活動を地域のスポーツ・文化芸術団体との連携や民間事業者の活用等により地域と連携・融合した形での環境整備を進めるための検討が全国的に行われるようになりました。

須恵町でも、令和4年に「須恵町部活動地域移行検討委員会」を立ち上げ、令和5年度から7年度までの3ヶ年を推進期間とし、令和6年度中にモデル事業を実施し、事業の検証を行っています。令和8年度からの休日部活動地域移行を目指し、取り組みを進めています。



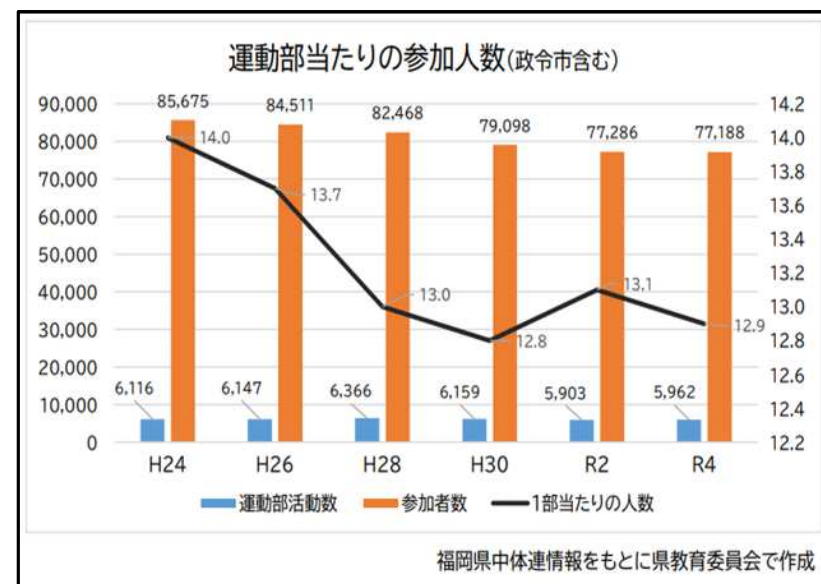
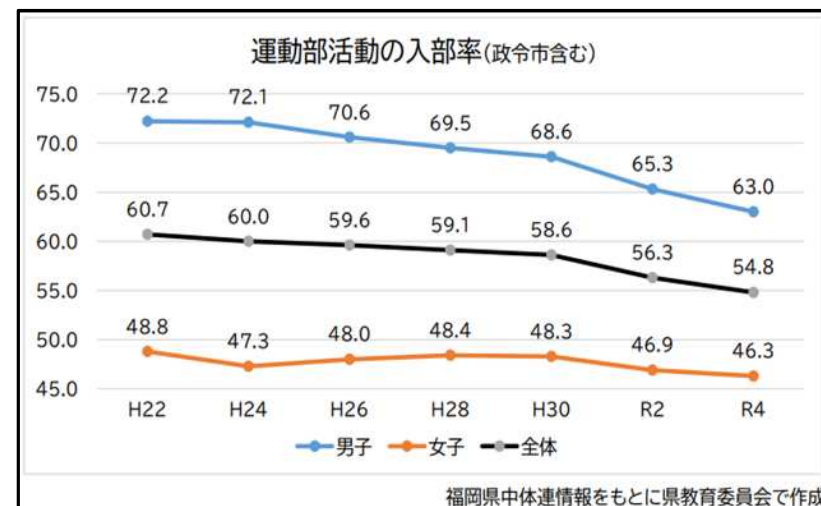
2 なぜ部活動の地域移行が必要なのか

少子化による中学校の生徒数の減少（全国中学校生徒数 S61:589万人→R3:296万人）や、運動部活動の入部率の低下により、存続ができない部活動が増加しています。（運動部活動数、部員数、1部活動当たりの人数、運動部活動の入部率、全て減少しています。）

その結果、行いたい部活動がなくなった生徒や、部員不足により試合や大会に出たくても出られない生徒がでてきています。

また、経験のない部の指導（指導力・技術力が充分でない）や休日の指導が教員にとって負担となっており、教員の働き方改革を推進しようとする動きも背景となっています。

＊ 休日の部活動指導は教員の業務負担が大きく、教員の採用倍率の低下にもつながっています。



3 部活動の地域移行アンケート調査（令和5年1月実施）

中学生1.2年生

中学校の部活動であつたらいいなと思うこと

- **いくつかの部活動**に入部できる仕組みを期待している
- △ **土曜日や日曜日**などの休みの時に、部活動をしたいという生徒は**少ない**

中学生の保護者

地域部活動の移行に伴って、期待していること、不安なこと

- 先生方の**負担軽減**による**教育活動の充実**を期待している
- **専門家**による**適切な指導**を期待している

小学生の保護者

地域部活動の移行に伴って、期待していること、不安なこと

- **技術向上**を最も期待している
- 先生方の**負担軽減**による**教育活動の充実**を期待している

4 部活動の地域移行アンケート調査（令和5年1月実施）

教 職 員

部活動において、問題・課題

- △ 「校務が忙しくて思うように部活動指導できない」
- △ 「自分の研究や自由な時間等の妨げになっている」が多いことから部活動が勤務時間の圧迫につながっている。

部活動を運営する際の指導技術について

- 「部活動を運営する際の指導技術について重要である」98%…競技等を専門的に指導する重要性を感じている。

部活動指導に対する自信

- △ 「部活動に自信がない」と答えている人が、60%いることから、専門的に指導できる技術がない中でも生徒のためにとって、苦悩している様子がうかがえる。

5 部活動の地域移行により期待される効果（メリット）

① 生徒への効果（メリット）

- ・ 専門的な知識や技術を有した指導者の指導を受けることができる。
- ・ 校内の生徒のみならず、他校の生徒や多世代間での交流を通して人格形成に寄与することができる。
- ・ 少子化のため、存続できなくなった活動を継続できる。

② 教師への効果（メリット）

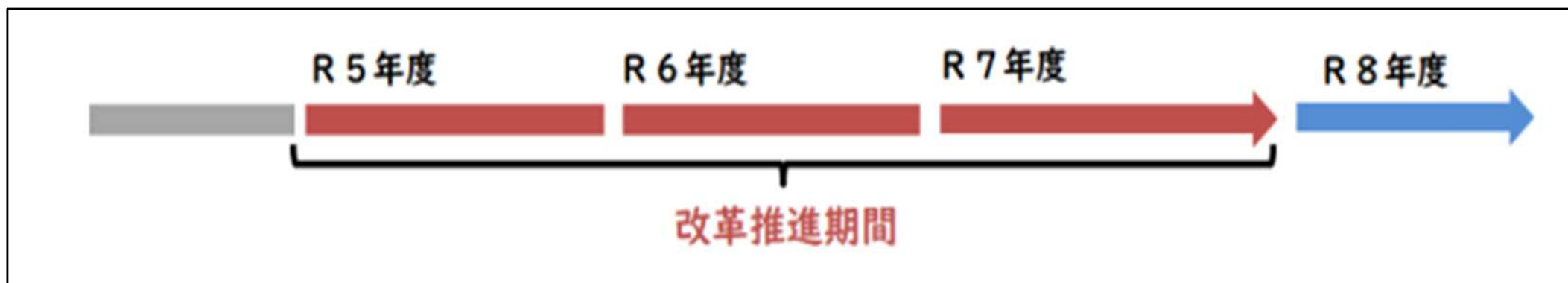
- ・ 教員が自分の意思で指導に関わることを選択できる。
- ・ 兼職兼業で従事することにより対価を受けながら自己の専門性を生かすことができる。
- ・ 将来的にすべての学校部活動が地域へ移行すれば、学校全体の業務軽減につなげることができる。

③ 地域への効果（メリット）

- ・ 多世代が交流して活動することができ、新たなコミュニティが生まれる。
- ・ 既存の学校施設や地域施設を有効活用することができる。
- ・ 地域で育った子供たちが、将来的に地域の指導者として活躍するなどの好循環が期待できる。

6 福岡県が考える運動部活動の地域移行の方向性

まずは、令和5年度から令和7年度までに、休日の学校部活動について段階的に地域移行していくことを基本とし、令和8年度以降については、改革推進期間における進捗状況を検証し、令和7年度中に改めて県としての方向性を示すことになっています。



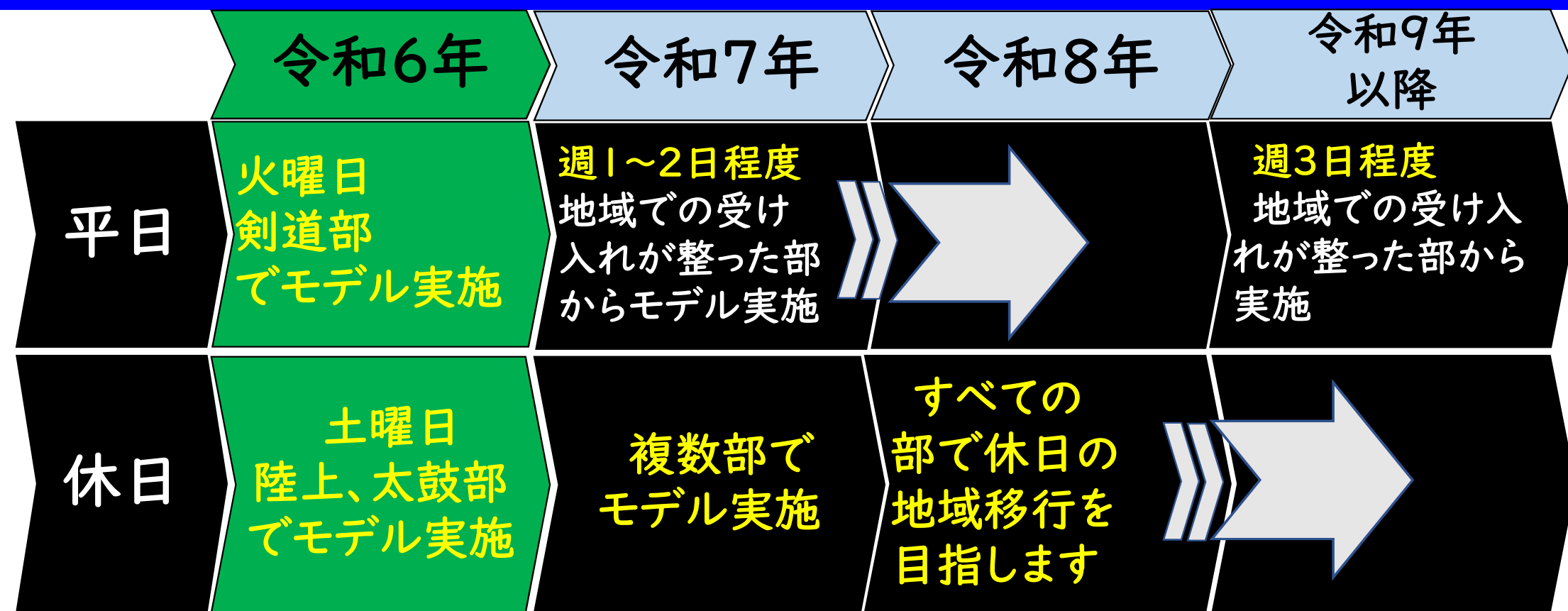
7 須恵町の方針

方針1 生徒にとって多様な選択肢を提供する

方針2 地域とともに生徒を育てる場として位置付ける

方針3 持続可能な運営体制を構築する

部活動の活動イメージ【令和6年～9年以降】【案】



朝練習（1日の練習時間はガイドラインに則り、朝練習と放課後練習で2時間程度となること）

国や県にならない休日の部活動の地域移行から始めます。
条件が整い次第平日の地域移行も進めていきます。

9 令和6年度の地域移行進捗(モデル事業)報告

陸上部、剣道部、太鼓部の3つの部活動で、12月からモデル事業を実施しています。

活動日時

陸上部と太鼓部は、土曜日午前中。
剣道部は、火曜日夕方。



活動場所

陸上部は、健康広場。太鼓部は、須恵東中学校武道場。剣道部は、須恵中学校剣道場。



練習場所への移動

徒歩、自転車、保護者の送迎のいずれかでお願いします。なお、自転車を利用する場合は、なるべくヘルメットを着用してください。保険の適用はありますが、自己責任でお願いします。

10 令和6年度の地域移行進捗(モデル事業)報告

陸上部、剣道部、太鼓部の3つの部活動で、12月からモデル事業を実施しています。

指導者

地域の方の協力で指導を行っています。希望する部活動顧問の先生も兼職兼業で指導を行います。

携帯電話(スマートフォン)

緊急連絡用に携帯することは可能です。練習の妨げにならないように注意してください。

保険及び参加費

学校管理下の活動ではないため、スポーツ安全保険への加入が必要です。また、活動に伴う費用の負担が必要です。

モデル事業の期間は、町で負担します。



部活動地域移行モデル事業スタート

剣道



部活動地域移行モデル事業スタート

陸上





部活動地域移行モデル事業スタート 太鼓

Ⅱ 令和8年度からの休日部活動地域移行完全実施に向けて

令和8年度からは、休日の部活動地域移行完全実施を目指します。ただし、条件が整った部活動からとなります。また、平日でも実施が可能となった部活動は地域移行します。

活動場所

中学校を中心とする町内の公共施設での活動を想定しています。

指導者

地域の方の協力で指導を行います。部活動顧問の先生も希望すれば、兼職兼業で指導を行うことができます。

今後、地域の方で指導に協力していただける方を募集していく予定です。

用具

原則、中学校の部活動で使用している用具を使用します。個人で使用するもの(スパイクや練習着等)は個人での準備が必要です。



保険及び参加費

学校管理下の活動ではないため、スポーツ安全保険への加入が必要です。また、活動に伴う費用の負担が必要です。令和8年度以降の休日完全移行後は、受益者による負担が必要です。なお参加費は、国及び県、近隣自治体の動向等を参考に検討していきます。